

大ヶ谷戸 こだなか

大ヶ谷戸小田中町会
発行責任者 志村 勝

通常総会

平成23年度大ヶ谷戸小田中町会通常総会が、5月15日、小田中町会館で盛大に開催されました(写真下)。

12年ぶりに会則を改正

計画(案)と予算(案)について審議し、全員一致で承認されました。

更に、小田中町会会則を時代の変遷に即応し、12年ぶりに改正する旨の提案がありました。主な改正事項は、小田中町会の区域の表示、監事と総務部長の職務の明示、総会に関する条例新設、慶弔費の一部変更など。また、改正内容に関する白熱した意見交換もありましたが、時間切れとなり、結論は役員会議に一任することになりました。このほか、会計監査を「監事」に改称。また、「防

大震災に備え 防災意識を高めよう

5月19日、志村町会長をはじめ町会の代表5人で、中原区役所を訪ね、東日本大震災の被災者等支援基金への義援金10万円を届けました。義援金贈呈式のと、小野寺区長より志村町会長に、町会宛の感謝状が贈られました(写真左)。

町会代表5人で 義援金を届けに

5月19日、志村町会長をはじめ町会の代表5人で、中原区役所を訪ね、東日本大震災の被災者等支援基金への義援金10万円を届けました。義援金贈呈式のと、小野寺区長より志村町会長に、町会宛の感謝状が贈られました(写真左)。

問 会館基金の目的について教えてください。
答 施設改修並びに大地震、火災等の有事に対する備えとして、毎年50万円を積み立てています。
次いで、平成23年度の事業

「総務部」(総務委員で構成)、「催事部」(旧祭礼盆踊委員で構成)、「広報部」(広報委員で構成)、「体育部」(体育委員で構成)を設置。更に、町会各委員と公的委員を分ける旨の提案があり、全員一致で可決(※別紙参照)。
続いて、新役員・委員・各部の部長を選出。事業計画は、



町会の主な行事予定

《平成23年》

- 7月 会報「大ヶ谷戸こだなか」発行
- 〃 グランドゴルフ大会
- 〃 (婦) 盆踊り練習
- 〃 (子) NHK早朝ラジオ体操
- 〃 おおがやと納涼盆踊り大会
- 〃 (す) 友愛チーム研修

- 9月 川崎市防災訓練
- 〃 美化運動
- 〃 関神社例大祭
- 〃 「敬老の日」お祝い表敬訪問

- 10月 赤い羽根・共同募金協力
- 〃 中原区民祭
- 〃 防災訓練
- 〃 スポーツ大会
- 〃 (す) 多摩川河川敷清掃
- 〃 グランアルト防災訓練

- 11月 (子) 友遊ラリー(大戸地区)
- 〃 (す) ふれあい祭り
- 〃 (す) 歩く会
- 〃 (婦) 研修会
- 〃 美化運動

- 12月 (す) 友愛訪問
- 〃 (子) 餅つき大会
- 〃 (子) 野球部・クリスマス大会
- 〃 年末夜警巡回

《平成24年》

- 1月 会報「大ヶ谷戸こだなか」発行
- 〃 (子) 風揚げ大会(中子連主催)
- 2月 (子) 作品展(川崎子連主催)
- 〃 役員新年研修会

- 3月 美化運動
- 〃 (子) 子ども夢パーク(津田山)
- 〃 (子) 野球部・お別れ会
- 〃 (す) 友愛訪問
- 〃 (す) 歩く会
- 〃 (婦) ガーデニング教室
- 〃 グランドゴルフ大会

※(婦) = 婦人部
〃(子) = 子ども会
〃(す) = すみれ会
※毎月第1木曜日 役員会
※(す)毎月第2木曜日 例会・誕生会

子ども会

会長 渡辺 信夫

総会を機に新出発

日頃から子供会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。23年度総会を5月19日に、志村町会長に出席いただき開催いたしました。

初の屋内運動会

今年の運動会は梅雨前線と台風の影響で雨になり、初めての体育館での実施となりました(写真)。

のびのびと素直な子に

行事計画・予算案等については、全員の承認を得、新たなスタートを切りました。少子化の時代、子どもたちは「地域の宝」です。

活動だより

各部ソフトボール大会は、6チーム(1・4部・防衛省・中原宿舎・グランアルト武蔵新城)が参戦し、秋(今年10月23日実施予定)に開催されます。

老若男女一体で競演!

各チームとも、選手の中に、「女性または60歳以上の方を2名」を含めることを参加条件としており、老若男女一体の楽しめる大

役員の方々が、大変にご苦労さまでした。

野球部部員
大募集
連絡先: 斉藤監督
☎: 788-2023



グラントゴルフ大会は、今年より年2回の開催を計画しています。ゴルフと同じようなルールでだれでも易しく楽しめるスポーツゲームです。近所の仲間同士や家族揃って参加し、みんなで楽しみましょう(写真右)。



東日本大震災に学ぶこと

お宅の防災への備えは万全ですか？

川崎市危機管理アドバイザー

大貫 啓行

てみます。参考にしてくださいます。

「想定外？」油断でしょう

今回はいろいろなところで想定外という言葉が聞かれました。本当に想定外だったの

丈夫という感覚があります。丈夫という感覚があります。

「わが家の防災会議」を開こう

東日本大震災の揺れをどこで経験しましたか？ 久しぶりの大きな揺れで驚かれたことでしょうか。被害はありませんでしたか。家族で帰宅難民状態になった方はいなかったでしょうか。ご家族で一度「わが家の防災会議」を開催してみたいか？

でしようか。明治三陸津波（1896年）、昭和三陸津波（1933年）と、百年に一回ほどの間隔で大津波が起きることはみんな知っています。なかには、「ここより下には家を建てるな」という石碑を残して警告してくれている

今回もマニュアル通りに行動して犠牲になった事例が少なくありません。小学校の校庭に集合して点呼を受けているうちに津波が襲って来たという悲しい事例がありました。指定された避難所に避難してそこで犠牲になったという人



防災対策について講演する山口中原消防署長（4月3日・3部理事会）

も少なくありません。国の基準を守っているから問題ない……では済まされない原発事故というのが現実なのです。

からない。そのためにはどうするか？ 一番大切なことは犠牲になった方々の声なき声に耳を澄ませて聞き入れることです。

（1）地震の揺れは長くても4分ほどです。とつさに頭、胸など致命傷になる所を守ることが大切です。テーブルや机の下に入る。ソファに座っていたらクッションなどを頭にかぶって硬いものの隅に身を寄せること。外を歩いていたら落下物を避け、かばんなど頭の上にかざして建物から遠ざかる。

愛する家族、近所の皆さんの命は自分（達）で守るという決意を

率直に申します。まずは自分の命は自分で守るという決意をしなければなりません。危機管理の根本です。だれかに頼っては助かるものも助

動を通して、子育て家庭が孤立することを防ぎ、安心して子育てできる環境づくりを目指しています。

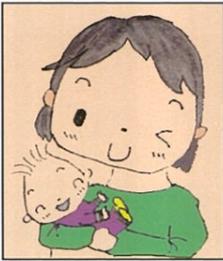
（3）寝ている所、窓ガラスなどが降ってきませんか？ 飛散防止のフィルムを貼ってください。

大ヶ谷戸・新城地区では、昨年度7人の訪問員が登録し、年間46件の訪問を行いました。

※「新生児訪問」は保健師・看護師など訪問指導員が直接訪問し、赤ちゃんの体重測定や母親の血圧測定をしたり、育児相談に応じたりします。

「問い合わせ」 区役所保健福祉センター 保健福祉サービス課 児童・家庭支援係 ☎：744-3105

平成23年4月より、中原区保護司会会長に2部の原増男氏が就任しました。



わが町の誇り

市内最高峰の技能士 かわさきマイスター

中村光男さん

「鉄は熱いうちに打て！」 と言うが、人間も同じだね。若いうちに鍛えないと……」

「自分に厳しく、他人にも厳しく」がモットー。鋭い眼光、研究熱心で好奇心も強い。秋田県生まれ。幼少期は新潟県柏崎市で育つ。

14歳で旋盤の見習い工に。その傍ら専門学校で夜学に通い、機械工学を学ぶ。東芝入社後、旋盤工の腕に磨きかけた。定年退職後も、再就職先で卓越した技能を發揮。

多種多様なバイト（旋盤に付ける単刃の工具）を形状加工し、小型汎用旋盤をフルに使いこなした。

せんばん 旋盤工歴63年の匠技

「どうも、私はオーロラに嫌われているようで……」と大笑い。

これまで、川崎市文化協会副会長、川崎市写真連盟代表、川崎市民美術協議会副会長等を歴任。写真集『蝸牛の道は白い道』も出版した。

今も、87歳の現役カメラマン。そのバイタリティーの源泉は、旺盛な好奇心・探究心にあるようだ。



編集後記

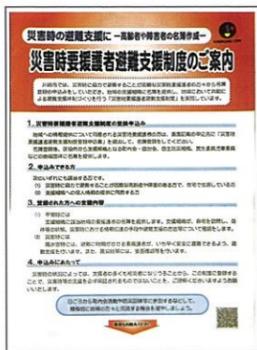
★「芸に秀でる者は多芸に通ず」——今号の「わが町の誉れ」の中村光男氏は、12歳の頃からカメラに興味をもち始め、今でも87歳の現役のカメラマンとして世界を駆ける。その旺盛な好奇心に脱帽。

★東日本大震災・巨大津波・原発事故を通して、近隣同士の支え合い、信頼の絆で結ばれた地域社会が、逆境の中で生命を守ることを改めて痛感。★今回の大震災の教訓をどう生かすか——大貫啓行氏の助言を参考に、ぜひわが家の防災の備えの総点検を！

災害時要援護者避難支援制度

高齢者や障害のある方を対象に

川崎市では、災害時に、高齢者や障害のある人などが、安全に避難できるよう「災害時要援護者支援制度」を設けています。



災害時に自力で避難することが困難で、在宅で生活している高齢者や障害のある方が対象です。自ら名簿登録の申し込みをいただき、地域の支援組織（町内会・自治会・民生委員など）に名簿を提供し、地域において

「こんにちは赤ちゃん訪問」事業

平成22年1月から川崎市では「こんにちは赤ちゃん訪問」事業を開始し、1年が経過しました。赤ちゃんが生まれたら、「こんにちは赤ちゃん訪問」または「※新生児訪問」のどちらかを選んでいただきます。

「こんにちは赤ちゃん訪問」を希望された方には、おおむね生後3カ月以内に、訪問員が2人1組でお祝いの気持ちと子育て情報を玄関先にお届けいたします。

「こんにちは赤ちゃん訪問」の出会いを通して、近隣とのふれあいの輪が広がっていくことを願っています。